



## 201系 30N更新車 ウグイス

### ◆実車ガイド

- ・201系は1979年に登場した通勤形電車で国鉄としては初めて採用された電機子チョップ制御や前面周りの黒い鋼製パネルが特徴です
  - ・関西地区へは1983年から高槻電車区・明石電車区に投入され京阪神緩行線などで運用されました
  - ・2003年から2008年にかけて車両の延命を目的に「体質改善30N」と称したリニューアル工事が施され、外装、内装共に大きく姿が変わりました
  - ・2005年に321系が登場すると森ノ宮電車区と奈良電車区に半数ずつ転属しました
  - ・奈良電車区の車両はウグイスの車体色に白帯の警戒色を配した塗装になり大和路線・おおさか東線・和歌山線の一部で活躍しました
  - ・2009年頃からクーラーの換装(AU75形→WAU709形)が行われました
  - ・後継車両の登場などで徐々に数を減らし2019年に大阪環状線・桜島線、2022年3月におおさか東線・和歌山線での運行を終了したため現在の活躍の場は大和路線のみとなりました
- ※(文中の電車区名は当時の名称です)

【文責:トミーテック】



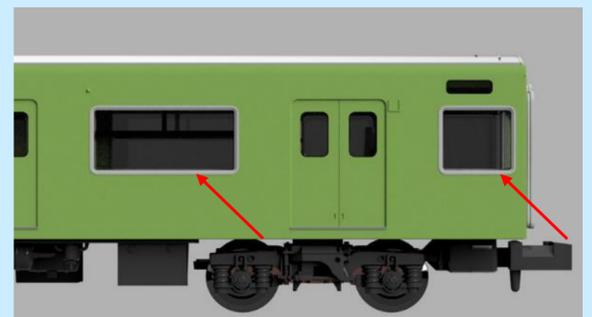
写真:高屋 力

※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

### ◆ここがポイント

**POINT:1** 張り上げ形状に改造された雨樋や交換された窓枠などが特徴の201系30N更新車を車体新規製作で再現 (床下は黒色で再現)

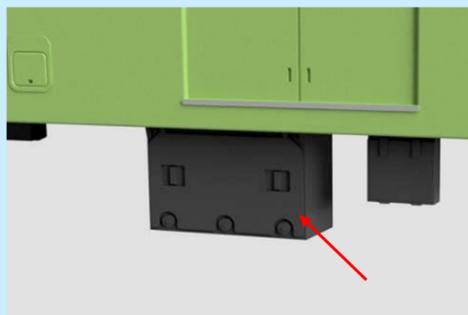
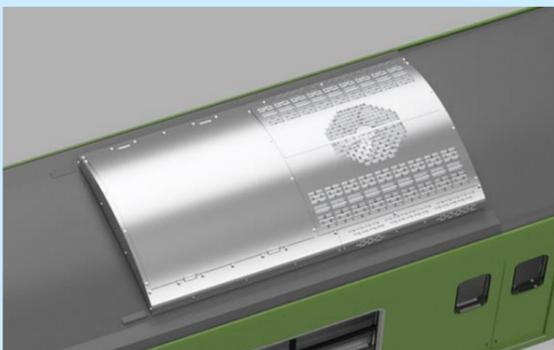
**POINT:2** 側面客室窓枠は車体側に表現



**POINT:5** スカートは強化型の姿を再現  
ダミーカプラー装備

**POINT:3** WAU709形クーラーを新規製作で再現

**POINT:4** 先頭車の床下にあるATS-P機器箱を再現 (表面の銀色印刷なし)



各画像は**試作・開発中**のデータを用いたCGです  
実際の製品とは異なる場合があります

### ◆製品化特徴

- ・201系のJR西日本30N更新車を車体新規製作で再現
- ・WAU709形クーラーを新規製作で再現
- ・床下は黒色で再現
- ・パンタグラフはPS21形を搭載
- ・アンテナ、信号炎管は装着済み
- ・ヘッド・テールライト、前面表示部は常点灯基板装備
- ・ヘッドライトは電球色LED、テールライトは赤色LEDによる点灯
- ・前面表示部は白色LEDによる点灯
- ・前面表示部は交換式で印刷済みパーツ「JR難波」装着済み、交換用パーツ付属
- ・JRマーク、靴摺りは印刷済み
- ・車番は選択式で転写シート付属
- ・先頭車運転台側はダミーカプラー装備
- ・フライホイール付動力、新集電システム、黒色車輪採用
- ・M-13モーター採用

### <別売りオプション>

室内灯:<0733>LC白色  
TNカプラー:<7711>密連型・配管付

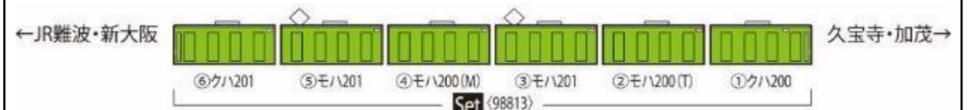


### ●並べて楽しめる商品●



103系西日本仕様  
好評発売中

### ■セット内容・編成例



品番	98813	品名	JR 201系通勤電車(JR西日本30N更新車・ウグイス)セット	セット両数	6両
発売月	2023年4月	JANコード	4543736988137	予価	¥21,340 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	218×304×34mm	パッケージ形態	ブック型プラケース
品番	7711	品名	密連形TNカプラー(SP・黒・空気配管付・6個入)	セット数	6個
発売月	2023年4月	JANコード	4543736077114	再生産	¥2,420 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	32×68×18mm	パッケージ形態	プリスター

※<7711>は2023年1月にも再生産を予定しております。

JR西日本商品化許諾済